

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 火3/金2/金3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅳ / ChineseⅣ		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	火3:2K26 / 金2:2P18・19+2F 二 / 金3:2E10	科目分類 外国語科目(中国語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安/xiaoran@nagasaki-u.ac.jp/共同教育棟3階/095-819-2166/月・火・金の5校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 <b>授業のねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法:</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>授業到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 概要:語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一组とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。 第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法:主述述語文 / 即使～也～ 第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」 文法:只要～就～ / 了 / 有时～有时～ 第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法:対～感(有)兴趣 時間状況語 第4回 第8課『京劇』(2) ③「私がおっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文法:～了～了 / 越～越～ 第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」 文法:受身文(～られる) / 動量補語 第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法:一～就～ 第7回 第7課～第9課の復習 第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」 文法:比較の表現 第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」 文法:[構造助詞]的、地、得 第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法:結果補語 / 连～也(都)～ 第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法:不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文 第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法:(虽然)～但是～ 第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」 文法:二重目的語 / 为(了)～ 第14回 第10課～第12課の復習 第15回 総合復習(試験含む)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:高芳・劉軍『場面て学ぶ中国語2』(三修社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			